

JR 南武線連続立体交差事業に関する地域勉強会（第9回）開催要旨

開催日時 平成30年10月30日（火） 18時00～19時30分

開催場所 中原区役所 5階 第502会議室

- 議 事**
- 1 第8回の主な意見と基本的な考え方について
 - 2 公共空間の利活用について
 - 3 まちづくり方針における戦略的誘導地区について
 - 4 その他

《開 会》

1 第8回の主な意見と基本的な考え方について

【意見要旨】

地域勉強会 ○議事録について、事前に送付してほしい。

事務局 ○了解しました。

2 公共空間の利活用について

【意見要旨】

地域勉強会 ○鹿島田デイズは、地域に開かれた場所の提供をするものである。

昼間は、ランチやワーキングスペースの提供を行い、夜間はお酒の提供等を行い、パブ形式で事業展開する。

付近の企業の方と話をした際にも、企業として地域に貢献したいと考えているが、地域とのつながりを持つ場がないという話もあり、このような場所を役立てていきたいと考えている。

地域勉強会 ○町内会が中心となって運営しているのか。

地域勉強会 ○三井不動産が中心となり運営している。

地域勉強会 ○地域に根ざしたたまり場を提供することで、気軽に立ち寄れるスペースの提供、また、スペースを写真展やイベント等に利用してもらうなどを行うことで、地域と企業を結び、企業からの協賛なども得られればと考えている。

地域勉強会 ○資料に写真があるが、駅前空間に芝生広場を1～2週間設置し、地域の方が和んでいただけるか社会実験を行う予定としている。

地域勉強会 ○鹿島田の取組みは良いが、武蔵小杉のエリアマネジメントは曲がり角に来ている。武蔵小杉も参考にしながら連携して取組んだほうが良い。

新しく入ってきた人達と、元々住んでいた人たちとの間に齟齬が出ないようにしたほうが良い。

地域勉強会 ○地域間で連携し、情報交換して行っていきたい。

地域勉強会 ○行政としての鹿島田デイズへの関わり方や取組みはどのようになるのか。

事務局 ○川崎市の管理地を利用させていただくことで協力させていただきます。また、社会実験で動向をつかみ、連続立体交差事業が進んだ先に、社会実験の結果等を反映させ、まちづくりに役立てていきたいと考えています。

地域勉強会 ○武蔵小杉のエリアマネジメントも、当初は、川崎市主導で行ったが、地域住民が置いて行かれた感じがあったので、スタートが肝心である。

3 まちづくり方針における戦略的誘導地区について

〔意見要旨〕

- 地域勉強会 ○今の世の中は、ネット通販で買い物をするので、将来的に商業施設は成り立たない。単純な商業施設ではなく、健康・スポーツを核とした施設などにして集客したほうが良いのではないか。例えば、オリンピックで新種目となったスポーツができる施設などであれば、老若男女集まれるのではないか。
- 地域勉強会 ○川崎市は何万人の市としようとしているのか？
将来を見越した市の方向性が見えない。
武蔵小杉では、自治会館の移転だけでも話がまとまらない。
ハードだけでなく、ソフト面も考慮し、様々な意見を聞きながら実施していかないと対応できない。
- 事務局 ○西加瀬地区のみの完結形ではなく、平間駅や元住吉駅との連携を図りながら、地域の方のご意見も伺いながら、まちづくりを進めていきたいと考えております。
- 地域勉強会 ○JR とは、南武線の高架や、まちづくりについてもどのように進めていくかを話し合っているのか。
新川崎の駅舎も古く、周辺にマンションが建ち飽和状態となりつつある。そのようなことも話し合っているのか。
- 事務局 ○JR とは、連立事業については打合せしながら事業を進めています。
まちづくりについては、まだ具体的に話をしていないが、まちづくり方針をまとめたうえで、JR とは調整していきたいと考えております。
新川崎の駅舎について、古くて、手狭であるということに関しては、JR に対して要望はしていきたいと考えております。
- 地域勉強会 ○連立事業の費用負担についてはどのようになっているのか。
- 事務局 ○連立事業の費用負担割合は、全国的にルールが決まっており、自治体である川崎市が9割、JR が1割の負担となっています。川崎市が負担する費用の半分は、国からの補助金で賄いたいと考えています。
連立事業は、踏切除却することが目的の道路事業であるため、自治体の負担割合が大きくなっています。
- 地域勉強会 ○当初、この勉強会は、南武線連立立体交差化事業の勉強会と認識していたが、まちづくりの話までされると広がりすぎではないのか。
- 事務局 ○連立事業は、大きな事業であるため、まちづくりも含めて方向性を示し、整備を進めていきたいと考えています。
- 地域勉強会 ○大田神奈川線は、連立事業とあわせて整備されると聞いているが、どのように整備していくのか。
- 事務局 ○連立事業とあわせて整備を進めていくが、踏切が除却されない中で、道路を整備しても効果が薄いので、連立事業を優先して踏切除却後に道路を整備してい

くこととなると考えています。

地域勉強会 ○道路の予定地に新しく家を建てて販売しているが、規制はかけられないのか。
知らずに購入した人は困ると思うし、補償費の無駄となるのではないか。

事務局 ○都市計画決定されている区域では、鉄筋コンクリートなどの硬い構造物などは
建てられない制限はあるが、木造3階建て以下などであれば建てられます。な
お、不動産業者は、売買の際に、都市計画道路の区域であることを重要事項説
明で行うことが義務付けられています。

地域勉強会 ○戦略的誘導地区の指定に強制力はあるものなのか。
また、この内容が表に出ていくのであれば、工場が地域に対して閉鎖的、地域
の分断となっているという表現については適切ではないので改めていただき
たい。

事務局 ○戦略的誘導地区については、法的拘束力はありません。
工場敷地に関する記載については、誤解を生じさせない表現に調整させていた
だきます。

地域勉強会 ○西加瀬地区や平間のグラウンド跡地は、市で買収するのか。

事務局 ○市で購入する予定はありません。
民間活力を生かしながら、まちづくりを誘導してまいります。

地域勉強会 ○土地所有者が知らないところで議論しても意味が無いのではないか。

地域勉強会 ○何もしなければ無秩序な開発となっていくので、このような勉強会で地域の皆
さんと議論し、よりよいまちづくりを考え、行政が民間の再開発を誘導してい
くことは必要であると考えています。

地域勉強会 ○2号再開発促進地区に指定されているのであれば、利用方法は限定されてい
るのではないか。議論の余地が無いのではないか。
また、市としての先を見越した方向性を示すとともに、今までの再開発による
弊害を検証したうえで、先を考える必要があるのではないか。

事務局 ○2号再開発促進地区に指定されている場合でも、必ずしも再開発を行わなけれ
ばならないということはありません。
新たな再開発を進める際には、過去の事例などを参考に検討し、適切な誘導を
行っていきます。

4 その他

VR 視聴

《閉会》